

公 示 用

令和 8 年度

設 計 書

役務名 定 山 溪 水 再 生 プ ラ ザ 濃 縮 汚 泥 運 搬 業 務

令和7年11月

札 幌 市 下 水 道 河 川 局 事 業 推 進 部
豊 平 川 水 処 理 セ ン タ ー

役務名 定山溪水再生プラザ濃縮汚泥運搬業務

業 務 委 託 費		円
内 訳	⑧ 業務価格単価	円/m ³
	⑨ 業務予定量(汚泥運搬量)	11,500 m ³ /年
	業務価格	円
	消費税等相当額	円

業 務 説 明

1 業務の概要

定山溪水再生プラザで発生する濃縮汚泥を西部スラッジセンターへ汚泥吸排車にて運搬する

2 履行期間 ☐ 契約書に示す着手の日から令和 年 月 日まで

☒ 令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

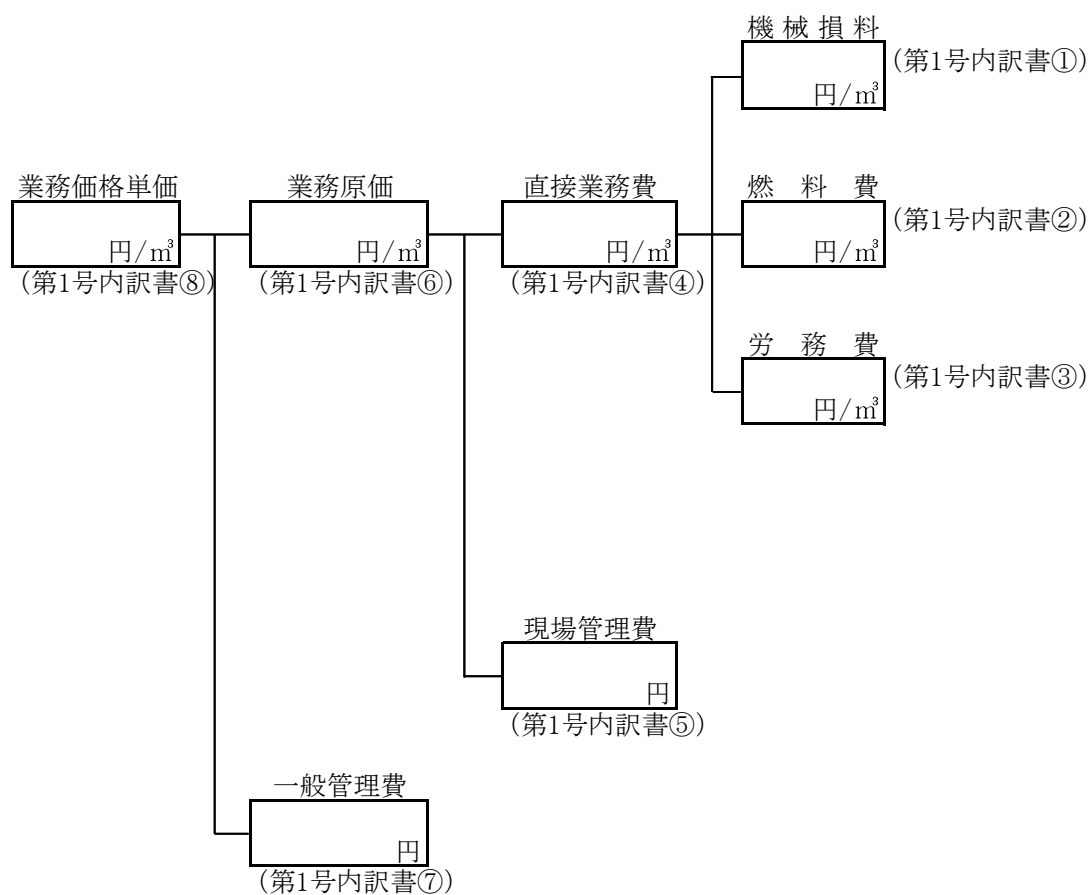
3 仕様書 ☐ 別添共通仕様書及び特記仕様書による。

☒ 別添仕様書による。

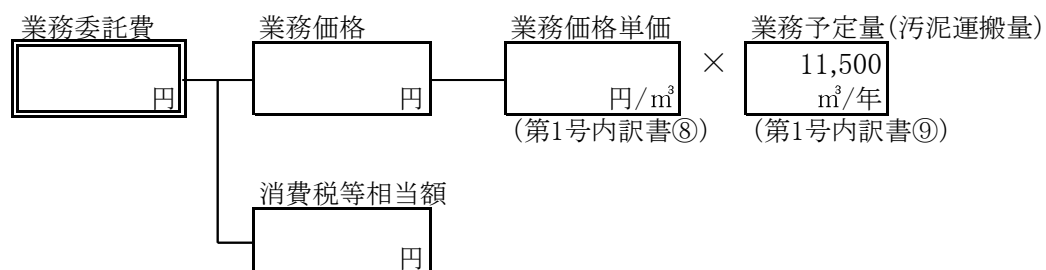
業務委託費総括表

役務名 定山溪水再生プラザ濃縮汚泥運搬業務

1. 業務価格単価



2. 業務委託費



第1号 濃縮汚泥運搬費(定山溪水再生プラザ)内訳書

項 目		単 位	計算式 (比例費)	金額等	備考
A	運搬量	m³/年	A1	11,500	⑨
	供用日数	日	A2	365	業務期間で拘束する日数
B	積載量	m³/台	固定	6.0	
C	運搬回数	回	A1/B	1,917	
D	往復距離	km/回	固定	80	
E1	走行速度	km/h	固定		
E2	往復時間	h/回	D/E1		
E3	積込等時間	h/回	固定 (20分)		
E	回当り所要時間	h/回	E2+E3		
F1	運転1時間当り機械損料	円/h	F1		建設機械等損料表による
F2	供用1日当り機械損料	円/日	F2		建設機械等損料表による
F3	供用日当り標準運転時間	h/日	F3		建設機械等損料表による
F4	供用日当り運転時間	h/日	(通算運転時間) /(供用日数)		
F	運転1時間当り換算値損料額(補正值)	円/h	F補=(F1+F2/F4)		稼動が標準的で無い場合:F4/F3>1.2
H1	軽油単価	円/L			
H2	燃料使用量	L/h			機械損料表による
H	時間当り燃料費	円/h	H1*H2		
I1	労務単価(一般運転手)	円/人	固定		
I2	労務費	人/h	1/F3		
I	時間当り労務単価	円/h	I1*I2		
J	m³当り機械損料	円/m³	E*F補/B		稼動が標準的で無い場合 ①
L	m³当り燃料費	円/m³	E2*H/B		②
M	m³当り労務費	円/m³	E*I/B		③
N	直接業務費	円/m³	J+L+M		④
O	現場管理費	円	N*率		土木工事標準積算基準による ⑤
		%			
P	業務原価	円/m³	N+O		⑥
Q	一般管理費等	円	P*率		土木工事標準積算基準による ⑦
		%			
R	業務価格単価	円/m³	P+Q		⑧
業務価格		円/年	A1*R		
			計		
消費税等相当額					
業務委託費					

注) 稼動が標準的な場合とは、対象の建設機械について供用1日当りの運転時間が、標準の値に比較して前後20%の範囲内にある状況であり、標準的で無い場合とは、その範囲を上回る稼動時間である状況とする。